

初代理事長の佐藤博臣氏の後任として、この度非営利活動法人日本防火技術者協会（JAFPE）の理事長に推挙されました。皆様ご承知のように JAFPE は SFPE 日本支部も兼ねております。今後、両組織の発展のため、会員の皆様のご協力を得ながら、微力ではありますが、努力する所存であります。

さて NPO 法人日本防火技術者協会は建築火災に関係する様々な方々が横断的に協力し、安全、安心な街作りを行うことを目的に 2003 年 9 月に設立しました。建築空間はますます大規模化、複雑化しております。また社会全体が高齢化するに伴い、安全性に関する基準も適宜見直す必要があります。大地震に襲われる危険を有する日本では地震と火災の同時発生も無視し得ない状況です。一方、火災に関する研究も徐々にではありますが、確実に進歩しております。それらの研究成果を取り入れ、安全な街作りの実現に向け努力することは、社会的に大きな意味があります。

当協会は、最新の研究成果を基に、これら課題の解決に向け活動することにあります。

2006 年に早稲田大学で開催されました、SFPE 本部主催「SFPE 性能規定と性能設計シンポジウム」のテーマは高齢者施設でした。日本から 100 名を越す参加者があり、かつ日頃の研究成果を取り入れた日本の計画案を示すことができました。この結果、SFPE 本部においても高く評価されハットオフ賞の受賞に結びつき、技術面においても組織力におきましても日本の力を海外へ示すことができました。今後もこれらの行事には積極的に参加し、海外においても、また国内においても評価される組織にしたいと思います。

複雑化する災害に対し、合理的な対策を立案するためには防火分野における研究、開発の進展や、性能的評価手法の一層の普及を図る必要があります。そのためには防火に関する高度の知識を有する防火技術者の存在は欠かせません。構造や環境と同様に、建築計画における重要な役割を担う技術者として、その役割は、ますます重要になりつつあります。しかしながら防火技術者に関する社会的認知は、必ずしも十分ではありません。

国内におきましては、建築基準法が改正され構造と設備の設計者が、専門職として明確化される方向にあります。防火に関しましても、様々な活動を通じて、防火技術者の役割が社会的に、より明確に認知されるように努力したいと思います。

そのためには会員各位が保有技術の高度化を図り、かつ社会倫理に基づき行動されることが必要です。

そこで今後も以下のような活動を進めます。

- ・防火技術者の保有技術の向上
- ・防火技術者の行動倫理の向上
- ・防火技術者の社会的認知の向上
- ・海外の防火技術者との交流、情報の収集
- ・安全、安心な建物や町づくりへの参画

これらの活動を通して、安全、安心な街作りに貢献して行く所存です。

以上簡単ですが、就任の挨拶とさせていただきます。